

肺がんレジメン一覧（悪性胸膜中皮腫）

2025年8月更新

化学療法

[CDDP + PEM](#)

[CBDCA+PEM](#)

[PEM](#)

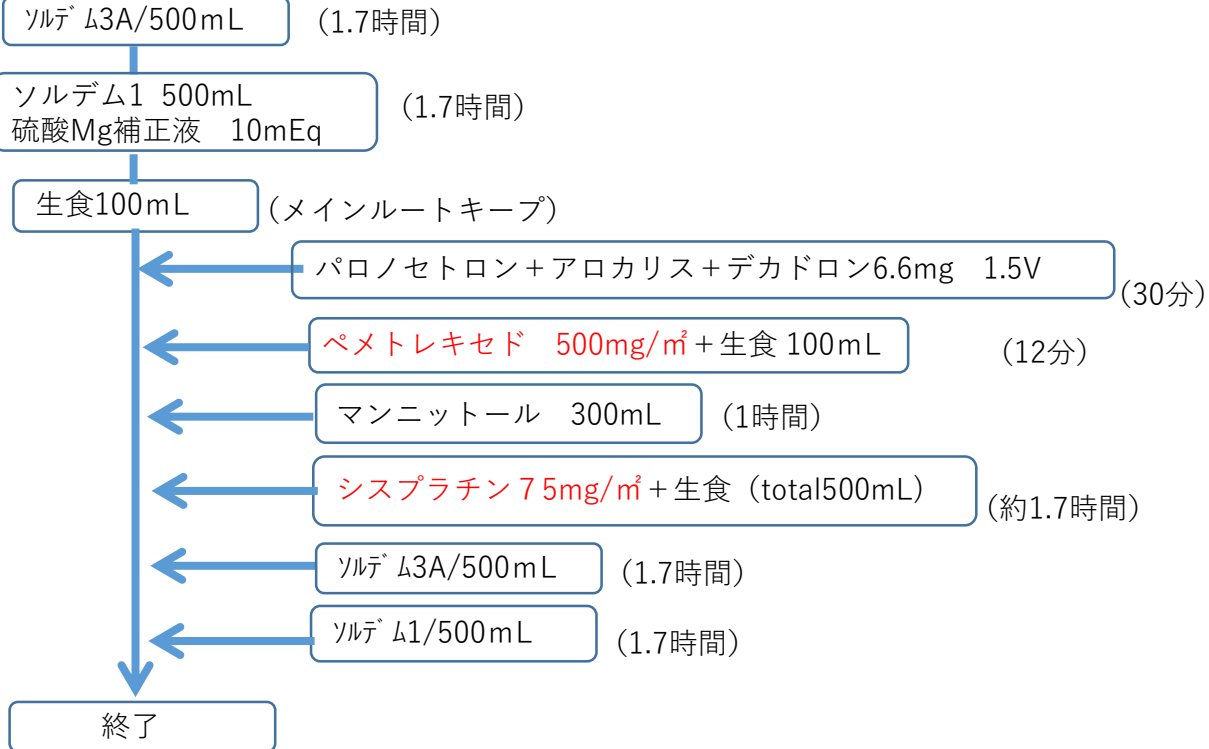
がん免疫療法

[Nivolumab\(2週\)・\(4週\)](#)

[Nivolumab+Ipilimumab](#)

CDDP + PEM

【Day1】 早朝開始



【TOTAL 約10時間】

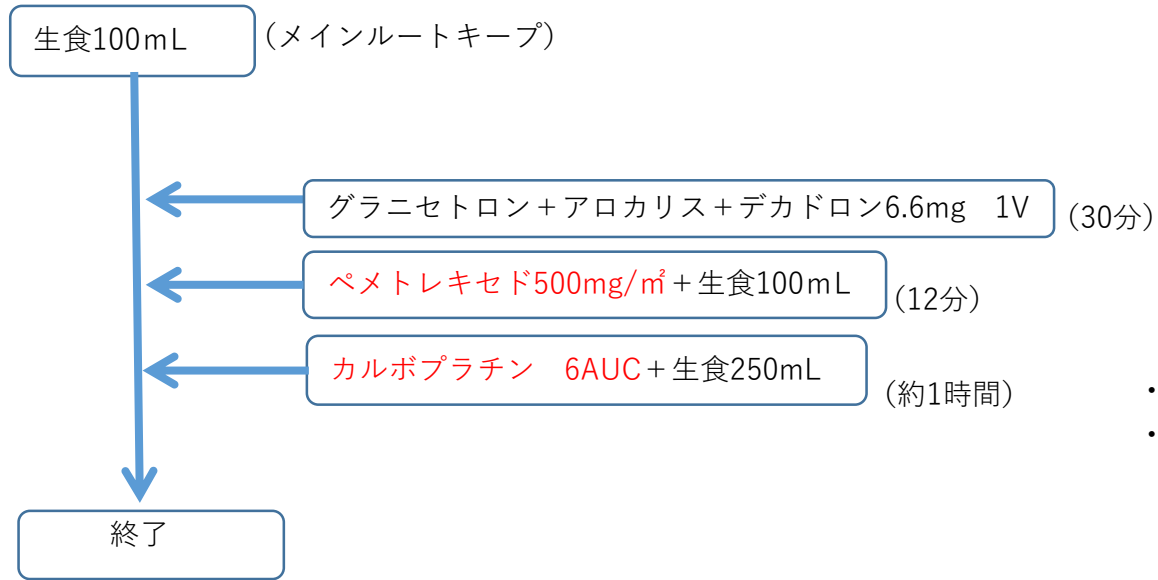
		1コース					2コース
薬剤	Day	1					22
PEM (ペメトレキセド)	500mg/m ²	●					●
CDDP (シスプラチン)	75mg/m ²	●					●

制吐剤のデカドロンはDay 1 - 4まで (DIV)
補液はDay 1 - 5 まで予定

- ・ 1コース 3週おき (4週の場合もあり)
- ・ 高度催吐レジメン (CDDP: 高度、PEM: 軽度)
糖尿病患者でない場合には、制吐薬: オランザピン5mgの併用推奨
(day1~day4 日中の眠気を考慮し夕食後 眠気が強い場合は2.5mgも考慮)
- ・ 血管外漏出 (PEM: 非壊死, CDDP: 炎症性)
- ・ PEMはCCR45mL/min以下の患者には禁忌
- ・ PEMの有害事象予防のため投与の1週間前から葉酸とVB12の投与を開始する
(葉酸: パンビタン 1 g 毎日、VB12 メコバラミン注1mg 9週おき)
- ・ 4 ~ 6 コース後にはPEMのみ維持投与が可能
- ・ ハイドレーションによる水分負荷 (心不全) に注意
- ・ ハイドレーションは腎障害予防のため

CBDCA + PEM

【Day1】



【TOTAL1時間42分 + α 】

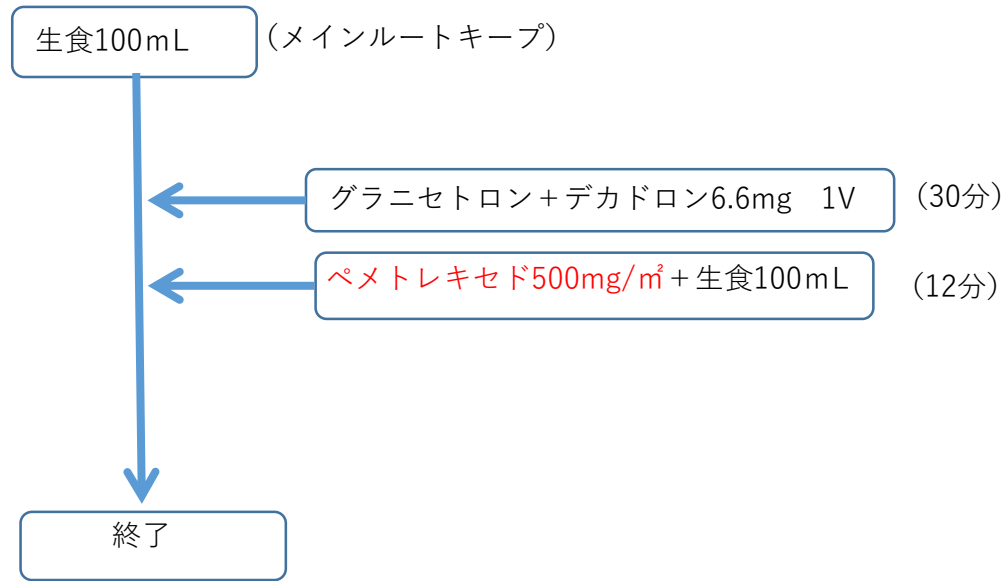
非扁平上皮癌

		1コース			2コース
薬剤		Day	1		22
PEM (ペメトレキセド)	500mg/m ²		●		●
CBDCA (カルボプラチン)	AUC= 6		●		●

- ・ 1 コース3週おき 6コース後は維持療法 (PEMへ)
- ・ 中等度催吐レジメン (CBDCA:中等度、 PEM：軽度)
悪心嘔吐コントロール不十分で糖尿病患者でない場合には、制吐薬：オランザピン5mgの併用検討
(day1～day4 日中の眠気を考慮し夕食後 眠気が強い場合は2.5mgも考慮)
- ・ 血管外漏出 (CBDCA:炎症性、 PEM：非壊死性)
- ・ PEMの有害事象予防のため投与の1週間前から葉酸とVB12の投与を開始する。(葉酸：パンビタン1 g 毎日、VB12 メコバラミン注1mg 9週おき)
- ・ PEMはCCR45mL/min以下の患者には禁忌

PEM（単独・維持療法）

【Day1】



【TOTAL 42分+α】

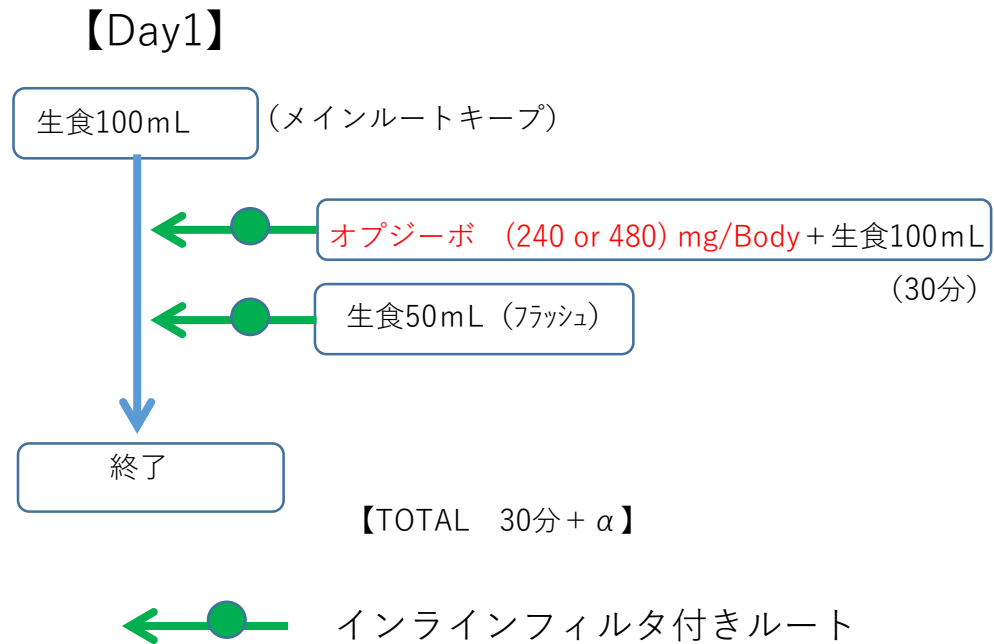
非扁平上皮癌

		1コース			2コース
薬剤		Day	1		22
PEM (ペメトレキセド)	500mg/m ²		●		●

- ・ 1 コース3週おき
- ・ 軽度催吐レジメン (PEM:軽度)
- ・ 血管外漏出 (PEM:非壊死性)
- ・ ペメトレキセドの副作用予防のため1週間前から
パンビタンの投与と9週毎にメコバラミン注の投与
- ・ PEMはCCR45mL/min以下の患者には禁忌

がん免疫療法 (免疫チェックポイント阻害剤)

Nivolumab（オプジーボ®）



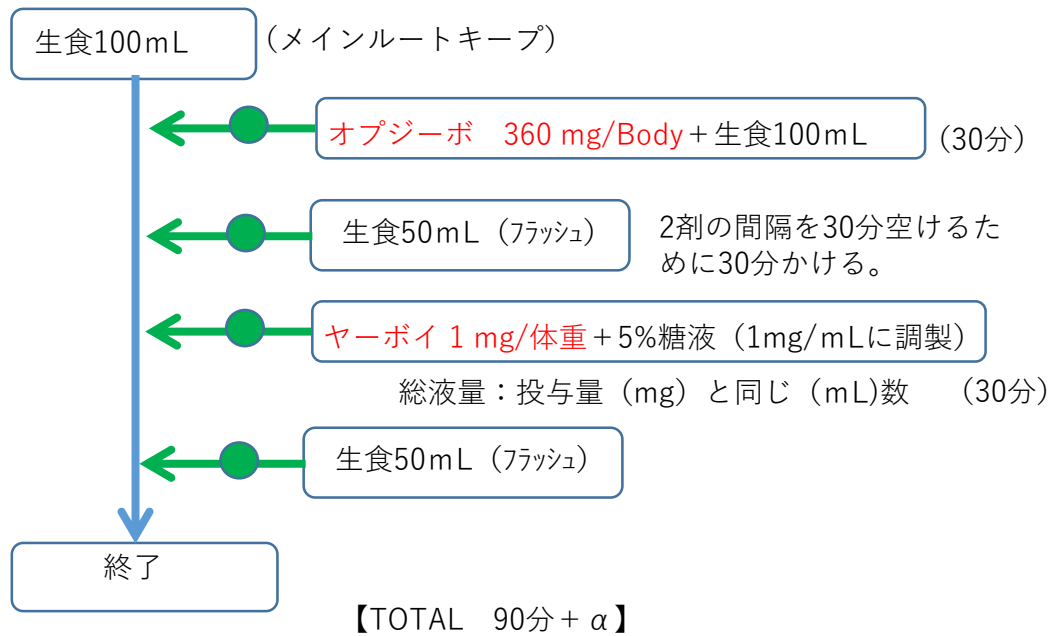
		1コース			2コース
2週毎	薬剤	Day	1		15
	Nivolumab (オプジーボ)	240mg/Body	●		●

		1コース			2コース
4週毎	薬剤	Day	1		29
	Nivolumab (オプジーボ)	480mg/Body	●		●

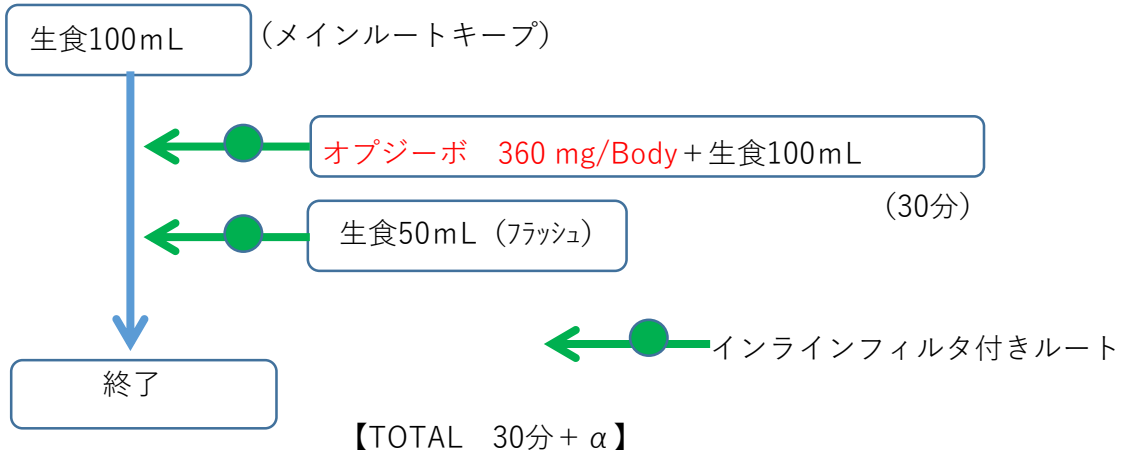
- ・ 1コース2週(240mg/body) おき
または 1コース4週(480mg/body) おき
- ・ 最小催吐レジメン (Nivo:最小)
- ・ 血管外漏出 (Nivo:非壊死性)
- ・ インラインフィルタ付きルートを使用
- ・ 免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) であり、PD-1を阻害する
- ・ 免疫関連有害事象 (irAE)に注意する。

Nivolumab + Ipilimumab (オプジーボ + ヤーボイ)

【Day1】



【Day22】



		1コース						2コース
薬剤	Day	1			22			43
Nivolumab (オプジーボ)	360mg/Body	●			●			●
Ipilimumab (ヤーボイ)	1mg/Kg(体重)	●						●

オプジーボは3週回毎、ヤーボイは6週毎に投与
6週間を1コースとしてコースカウントする

- ・最小催吐レジメン (Nivo:最小、Ipi:最小)
- ・血管外漏出 (Nivo:非壊死性、Ipi:非壊死性)
- ・インラインフィルタ付きルートを使用
- ・免疫チェックポイント阻害剤 (I C I) であり、オプジーボはPD-1を阻害し、ヤーボイはCTLA-4を阻害する。
- ・2つの分子種を阻害するため、より慎重に免疫関連有害事象 (irAE)に注意する。